

取扱説明書

No.221203

AUTO RUNNER

オートランナー

品番：OR-501N/OR-502N/OR-503N
OR-25062/OR-25092（長尺用）



■ もくじ

ご挨拶.....	1	駆動輪がパンクしたら.....	4
各部の名称.....	1	走れなくなった時の移動.....	5
安全上の注意.....	2	定期点検.....	5
お使いになる前に.....	3	電気回路図.....	5
運転の方法.....	3	故障の原因と対策.....	6
バッテリー残量計付.....	4	諸元.....	7
バッテリーの容量.....	4	品質保証.....	7
充電の方法.....	4		

■ ご挨拶

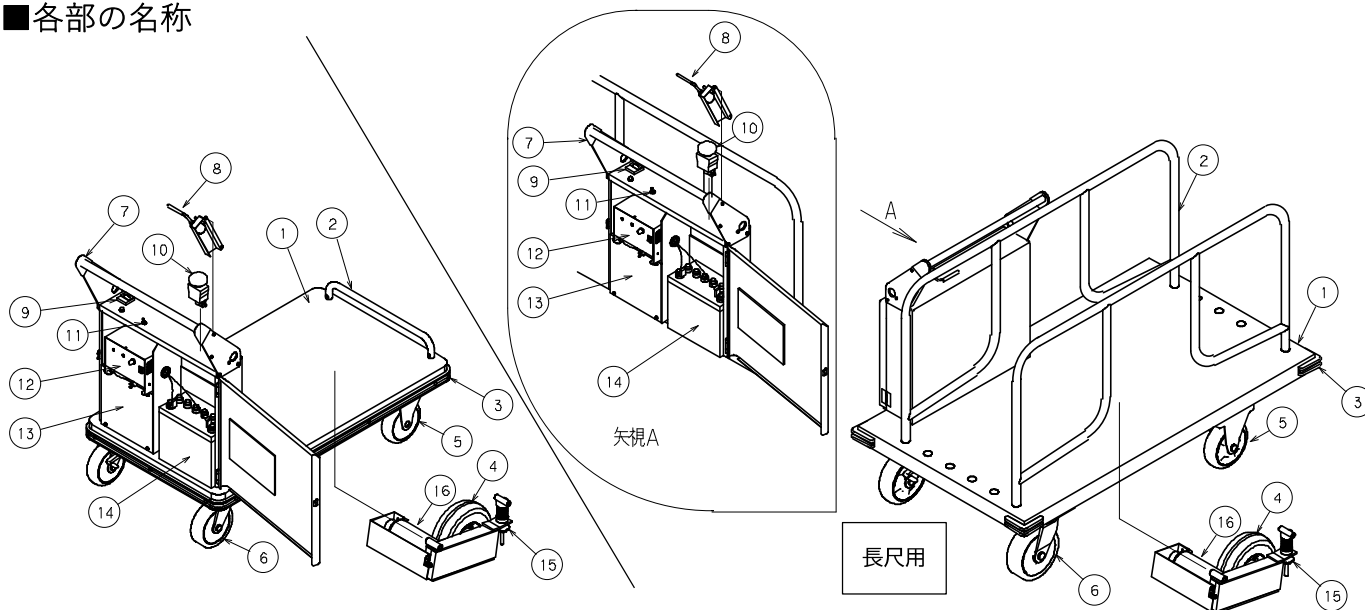
この度は本製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございました。

本機を安全に、能率よくご使用頂くために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

⚠ 注意

- 取扱説明書は大切に保管し、よく活用してください。
- 取扱説明書は最終ユーザーに必ずお渡ししてください。
- 取扱説明書や警告ラベルを破損・紛失した場合には、ただちに購入店に注文してください。
- 取扱説明書で使用方法に不明な点や疑問点がある場合は、購入店にお問い合わせください。

■ 各部の名称



- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. テーブル | 9. バッテリー残量計 |
| 2. 荷スリ/(長尺用)パイプバー | 10. 非常停止スイッチ |
| 3. バンパー/(長尺用)コーナークッション | 11. 前・後進切替スイッチ |
| 4. 駆動輪 | 12. 自動充電器 |
| 5. 固定車輪 | 13. マイコン基板 |
| 6. 自在車輪 | 14. バッテリー |
| 7. ハンドル | 15. 接地用ハンドル |
| 8. アクセルレバー | 16. モーター |

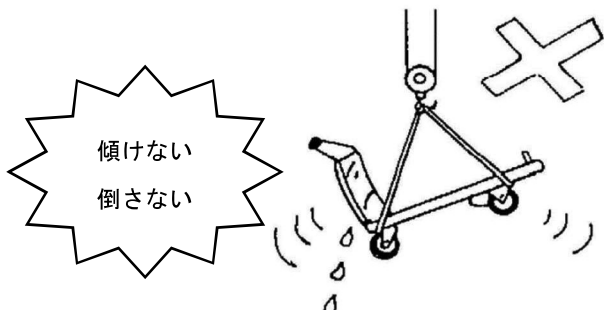
■安全上の注意

1. 車から降ろすとき、乗せるときは、傾けたり倒したりしないでください。

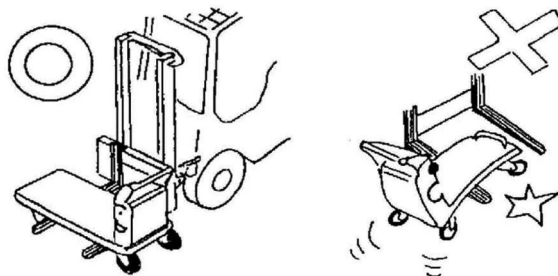


警告

1. 吊り上げないでください。釣り上げたときに傾いたり、揺れたりしますと、バッテリー液が漏れることがあります。バッテリー液は希硫酸です。皮膚や身体に付着するとやけどの原因となることがあります。



2. フォークリフトですくう場合には、モーターや配線等を引っかけないように側面から車輪の内々をすくい、バランスがとれているか確認して運搬してください。



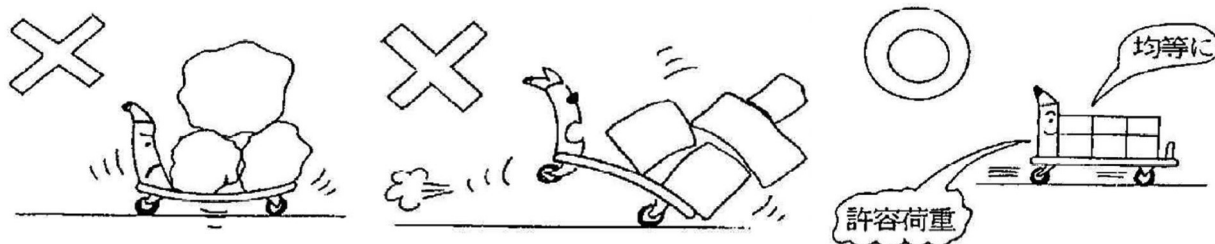
2. 堅固な舗装路面で使用する。

3. 許容荷重の範囲内で使う。



警告

1. 許容荷重の範囲内で使用してください。(許容荷重はケース正面に表示してあります。)
2. 積み荷は、片荷や集中荷重にならない様、又、荷崩れしない様均等に荷積みしてください。



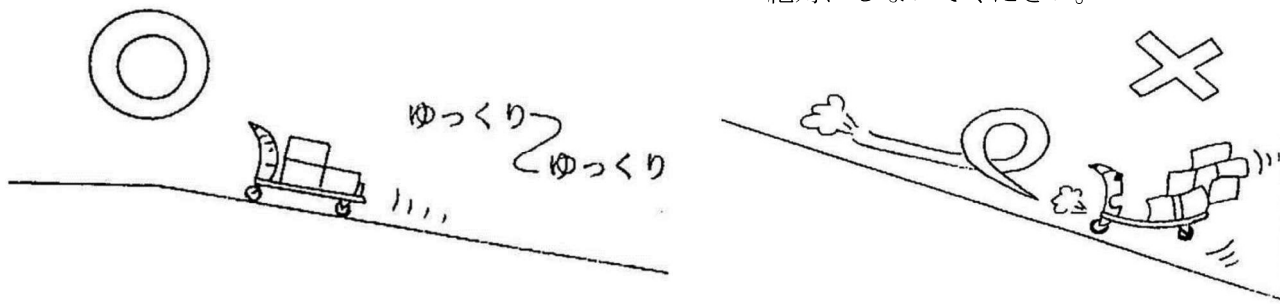
4. 坂はゆっくり。



警告

1. 坂はゆっくり登り降りしてください。

2. 坂での急ハンドルは危険です。絶対にしないでください。



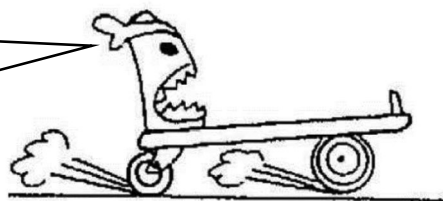
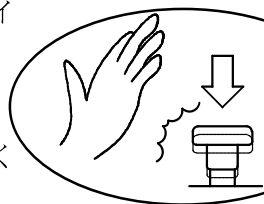
5. 暴走したときは非常停止スイッチを押す。



警告

暴走したときは直ちに非常停止スイッチを押してください。

離れるときは足踏みブレーキをかけ、非常停止スイッチを押してください



■お使いになる前に

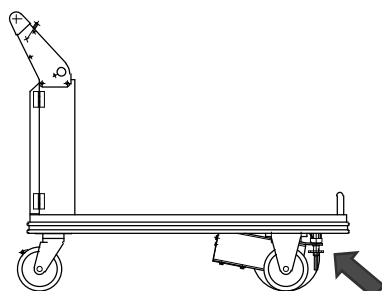
《駆動輪の接地》 **パレットに乗せて出荷している場合この作業は必要ありません。**

出荷時には輸送途中の事故を防ぐために、駆動輪を浮かしてあります。接地用ハンドルを回して駆動輪を接地してください。下図の様に接地用ハンドルを回して、下のゆるみ止めのナットに当たるまでゆるめてください。固い時はスパナを使ってゆるめてください。

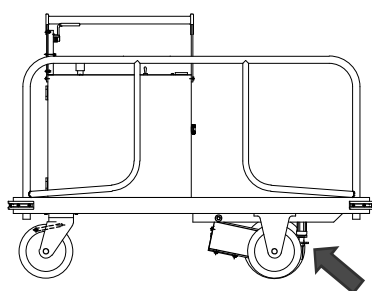


警告

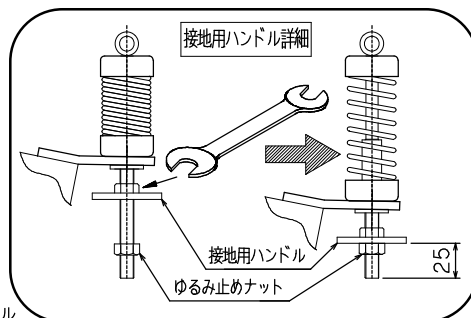
駆動輪接地の際には、非常停止スイッチを押して安全を確保してから行ってください。
作業中に発進すると非常に危険です。



接地用ハンドル

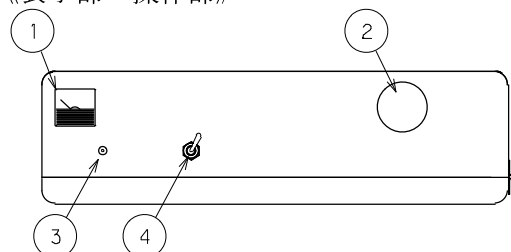


接地用ハンドル



■運転の方法

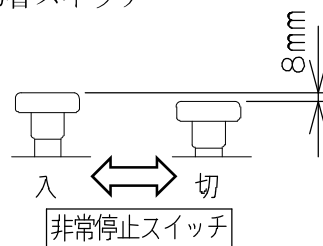
《表示部・操作部》



1. バッテリー残量計(目安)
2. 非常停止スイッチ
3. 電源ランプ
(点滅することで、数種類の警告をします)
4. 前・後進切替スイッチ

《運転の手順》

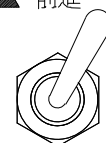
1. アクセルレバーから指を離してください。
2. 非常停止スイッチを引き上げてください。電源等が点灯します。
(異常があれば点滅します)
万一暴走したときは、直ちに非常停止スイッチを押してください。
3. 進みたい方向に、前・後進切替スイッチを倒してください。



注意

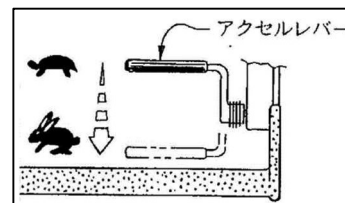
1. 前・後進切替スイッチの切替は、必ず一旦停止してから操作してください。
走行中に切り替えると非常に危険です。
2. 運転に慣れるまでは、前進走行で練習しましょう。又、本機から離れるときは前進に切り換えておきましょう。

▲ 前進



▼ 後進

4. アクセルレバー操作
アクセルレバーを引く・離すだけの簡単操作で、発進・加速・停止ができます。
アクセルレバーの引き加減で、スピードをコントロールできます。
いっぱいまで引くと、最高速に達します。

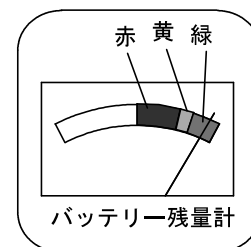


注意

1. 駐車時の足踏みブレーキは、必ず解除してから発進してください。
2. 発進する際は周りの安全を確認してから、ゆっくり発進してください。
3. 急発進、急加速、急停止などは避けスムーズな運転をしてください。
4. 起動時は電流値が高いため、発進・停止を連続で繰り返すと破損に繋がります。

■バッテリー残量計付

1. 残量計はバッテリーを消費すると指針が左に振れ、おおまかなバッテリー残量を指します。(目安)
2. バッテリー残量計はモーターを回した(走行させた)時に、正しい値を示します。
3. レッドゾーンに指針が振れるようになりましたら、直ちに運転を止め充電してください。



■バッテリーの容量(E B - 3 5)

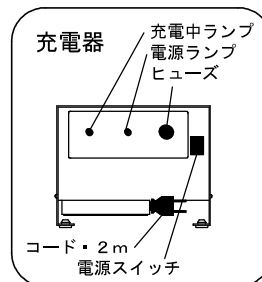
バッテリーは深く放電するほど寿命は短くなります。75%放電深さで寿命サイクル数は約500サイクルです。新品は容量の100%放電できますが、古くなるに従い放電量は少なくなります。また温度にも大きく影響を受けます。30℃で100%、0℃で80%、-15℃で60%と大幅に低下し寿命も短くなります。

使用条件にもよりますが、新品のバッテリー(バッテリー温度30℃)で最大荷重積載時に、約2時間の走行が可能です。起動時が最も電気を使いますので、発進停止を繰り返すとバッテリーの減りは早くなります。バッテリーの保守・管理には注意してください。

■充電の方法

◆バッテリーの充電

1. ユニットケースを開け、充電コードを引き出してAC100Vのコンセントに差し込み、充電器の電源スイッチを入れてください。電源ランプと充電中ランプが点灯し自動的に充電を開始します。充電時間は約12時間です。
2. 充電中ランプが消えると充電は完了です。充電器の電源スイッチを切った後にコードを収納してください。充電中ランプはバッテリーの状態によって点滅することがありますが、問題ありません。



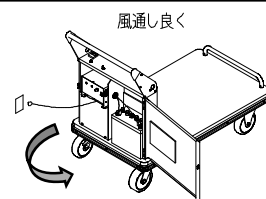
注意

- 充電中は絶対に走行させない(モーターを回さない)でください。充電器が破損します。
- 使用後に充電せず放置することはやめてください。バッテリーが急速に劣化します。



警告

1. 充電するときは非常停止スイッチを押した状態でしてください。
2. 充電は屋内の風通しが良く、乾燥した直射日光の当たらない場所で、ケースの扉を全開にして行ってください。
3. 充電コード長さは2mです。無理に引き出さないでください。
4. バッテリーから水素ガスが発生します。絶対に火気を近づけたり、短絡(ショート)させないでください。引火、爆発することがあります。充電中は操作しないでください。
5. バッテリー液(希硫酸)が目・皮膚・衣類に付かないように注意してください。失明や、やけどをすることがあります。誤って付着したときは直ちに多量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
6. バッテリーの過放電はしないでください。使用後そのまま放置すると寿命は著しく低下します。バッテリーは使用しなくとも自己放電します。満充電であっても1週間に一回補充電してください。
7. バッテリーの液面は週1回点検し、不足している場合は精製水を6ヶ所の槽のUPPERレベルまで補水してください。



バッテリー

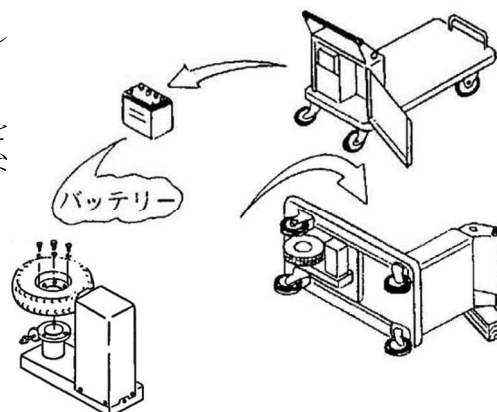
■駆動輪がパンクしたら

1. バッテリーを下す。(バッテリーのマイナス端子から先に外してから、プラス端子を外してください。)
2. 本機を横倒しにする。(右を下にして倒してください。)
3. タイヤを止めているボルト・ナット6本の内の3本のボルトを外すと、タイヤは軸から外れます。ボルトとナットを間違えないでください。

パンクしたタイヤは自転車店・バイク店・ガソリンスタンドへ、パンク修理を依頼してください。

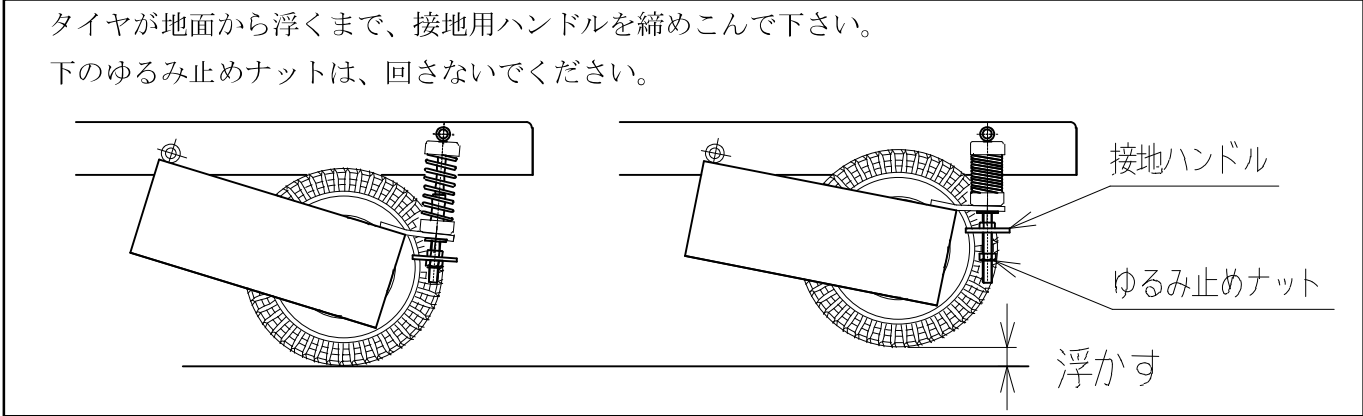
※駆動輪(エアータイヤ)の空気圧は2 kg/cm²です。

空気入れは自動車用かオートバイ用を使用してください。



■走れなくなった時の移動

1. バッテリー切れによる走行不能や、故障・パンクにより立ち往生した時には、下記の要領でタイヤを浮かし、邪魔にならない所に移動して、充電・修理等をしてください。タイヤを浮かすと、手押しの台車として扱えます。



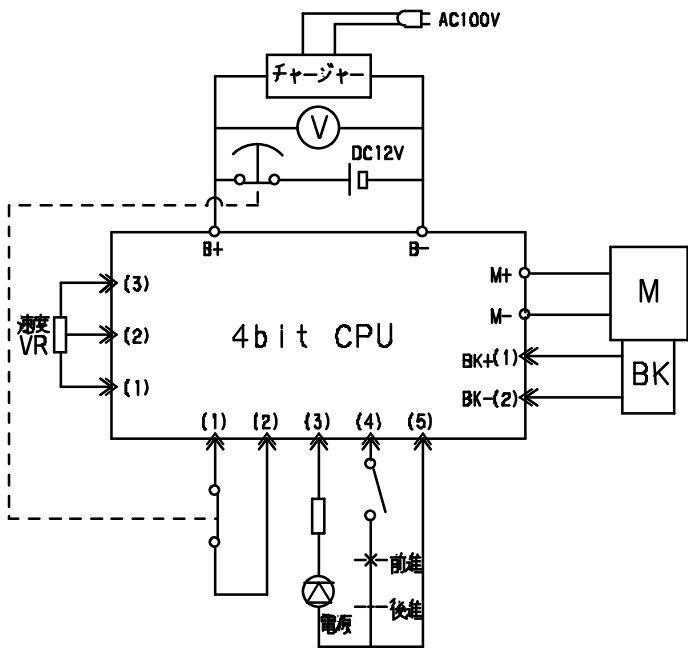
2. 再び、駆動させるときには駆動輪を接地してください。(3 ページの《駆動輪の接地》参照)

■定期点検

点検は必ず無負荷の状態にしてから、安全に充分注意して行ってください。
バッテリーの保守点検時には、必ず保護めがね・ゴム手袋などの保護具を着用してください。

点検箇所	点検内容	毎日	毎週	毎月
バッテリー	バッテリー液は規定量入っているか。		○	
	バッテリー残量計は緑色を指しているか。 (平坦な舗装路面で最大負荷積載時の走行中)	○		
アクセルレバー	アクセルレバーは正確に作動するか。	○		
スイッチ	スイッチ類は正確に作動するか。	○		
タイヤ 車輪	空気圧は適正か。(2 kg/cm ²)		○	
	針のささり・亀裂・損傷・摩耗はないか。		○	
駆動部	異音はないか。 モーターについている電磁ブレーキは正常に作動するか。 (アクセルレバーを少し引くと、『カチッ』と音がします)	○		
その他	ネジ等の締め付け部にゆるみはないか。 車体に曲がりや溶接等の割れはないか。			○

■電気回路図



■故障の原因と対策

症状			原因	対策
発進しない			駆動輪が浮いている	駆動輪を接地してください。(3ページ参照)
			非常停止スイッチが『切』のままになっている。	電源ランプを確認し、非常停止スイッチを引き上げて『入』にしてください。
			バッテリー性能が低下している。	バッテリー残量計を確認し、充電してください。
			雨・水に濡れた。	よく拭き取り、よく乾かしてください。
			駆動輪のローラーチェーン切れ。	押して動くようであれば、チェーン切れです。スプロケットとローラーチェーンを交換してください。
			スリップしている。	路面に油分がある場合は取り除いてください。坂でのスリップは積載荷重を減らしてください。
電源等が点滅	連続で点滅	モーターに過大な負荷がかかり安全装置が働いた。	一度非常停止スイッチを『切』にして、再び『入』にしてください。数回繰り返しても正常に回復しない時、又負荷を取り除いても回復しない時は、お買い求めの販売店にご連絡下さい。	
	2回点滅 1回休み	走行中に前・後進切替スイッチを操作した。		
	3回点滅 1回休み	アクセルレバーの調整不良・ズレ・操作ミス。		
	1回休み			
走りが重い			足踏みブレーキがかかっている。	足踏みブレーキを解除してください。
			モーターについている電磁ブレーキが作動しない。	モーターについている電磁ブレーキが作動するときには、『カチッ』と音がします。 音がしない場合には、断線かブレーキの破損です。新品のモーターと交換してください。
			バッテリー性能が低下している。	早めに充電してください。
			駆動輪のエアが少ないか、又はパンクしている。	自転車店、バイク店等へ修理を依頼してください。(6ページ参照) 空気入れは自動車用かバイク用を使用してください。
			動いたり動かなかったりする	バッテリーの端子が外れている・緩んでいる
		モーターのブラシの摩耗	新品のモーターもしくは駆動輪アッセンブリと交換してください。	
充電できない			ヒューズが切れている	充電器の管ヒューズ(3A)を交換してください。
			バッテリーの端子が外れている・緩んでいる	端子を接続し直すか、締め付けてください。
充電してもバッテリーがすぐにあがる			バッテリーの寿命	新品のバッテリーと交換してください。
			バッテリー液不足	
				充電器の故障

■諸元

型式		OR-501N	OR-502N	OR-503N	OR-25062	OR-25092
最大積載荷重(kg)		500			250	
テーブル 寸法	長さ(mm)	900	1200	1500	1315	1315
	幅(mm)	600	750	900	750	750
	高さ(mm)	255	300	300	300	300
本体寸法	長さ(mm)	1125	1425	1727	1351	1351
	幅(mm)	620	770	920	786	786
	高さ(mm)	930	975	975	975	1120
最小旋回半径(mm)		960	960	1100	933	1050
固定・自在車輪		φ 150 ゴム	φ 200 ゴム	φ 200 ゴム	φ 200 ゴム	φ 200 ゴム
駆動輪		2.50-4-4 エアータイヤ				
バッテリー		EB-35				
充電器		入力：AC100V 50/60Hz, 2A、コード長さ 2m				
駆動方式		チェーンドライブ・スプリング接地方式				
モーター		DC12V 200W				
制御・操作方法		マイコン制御・アクセルレバー方式				
走行	無負荷時(km/h)	0～3.5				
速度	負荷時(km/h)	0～2.3				
登坂角度		3°				
自重(kg)		80	90	125	95	97

品質保証書

お買い上げ日より1年以内に正常な状態で使用して故障し、弊社がその欠陥を認めた場合には無償修理致します。
ただし、バッテリーのみ保証期間は6ヶ月となります。

お買い上げ年月日 年 月 日

型番 ☐ OR-501N ☐ OR-502N ☐ OR-503N ☐ OR-25062N ☐ OR-25092N

お客様	ご住所 お名前	様
販売店	住所 店名 TEL	印

<無料修理規定>

- 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げ販売店が無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にご依頼ください。
なお、離島及び遠隔地へ出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご贈答品等で、お買い上げ販売店に修理依頼ができない場合には、本書に記載されている本社もしくは各営業所、サービスセンターにお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、及び損傷。
 - 組立・取り付け不備による故障、及び損傷。
 - お買い上げ後の場所移動、落下等による故障、及び損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷その他天災地変・公害による故障及び損傷。
 - 本書の提示がない場合。
- 日本国以外で使用された場合、すべてに責任を負えません。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理についてはご不明な場合は、お買い上げ販売店または本書に記載の本社もしくは各営業所、サービスセンターにお問い合わせください。

総発売元 **トラスコ中山株式会社** お客様相談室 ☎ 0120-509-849
〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号 E-mail: techno.center@trusco.co.jp

<http://www.orange-book.com/>